

銀行の配当政策と不良債権処理

随 清遠

〈要旨〉

2002年3期まで, 公表された不良債権額が増加し続けており, 銀行は不良債権の存在と関係なく配当を維持していた. 不良債権が顕著に減少した2003年3月以降の時期において, 配当に対して, Fama and French model の説明要因が部分的にしか説明力を持たないが, 不良債権は有意に負の影響をするようになった. この傾向は, 規制強化による影響という解釈と整合的である. われわれの結果は, 銀行業のガバナンスに対する規制のあり方の重要性を示唆する.